

第 2 回	健康教育に必要な理論（１）健康行動理論について（鹿毛） ・健康信念モデル、変化のステージモデル、計画的行動理論などについて活用の仕方を含め解説する。
第 3 回	健康教育に必要な理論（２）その他の理論（鹿毛） ・ナッジ理論、エンパワメント、自己効力感などについて活用の仕方を含め解説する。
第 4 回	健康教育におけるヘルスリテラシーについて（鹿毛） ・ヘルスリテラシーの定義および分類について解説する。
第 5 回	健康教育の対象と場について（鹿毛） ・人々の発達段階や地域、職場、医療機関等それぞれの施設の特性について解説する。
第 6 回	保健教育の方法と教材（媒体） ・学習方法のタイプや対象規模別の教育方法、教材（媒体）の種類や特徴について解説する。
第 7 回	健康教育計画の企画、実施と評価（鹿毛） ・健康教育計画の企画、実施、評価の過程について地域、職場、医療機関等それぞれの施設の特性を含め解説する。
第 8 回	健康教育の動向（鹿毛） ・住民参加、コミュニティ・オーガニゼーションの意義や国際的動向などについて解説する。
テキスト	最新保健学講座 別巻 1 健康教育論 メジカルフレンド社
参考図書・ 教材／データ ベース・ 雑誌等の紹介	医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 第 2 版 生活習慣病を中心に 医歯薬出版株式会社 医療・保健スタッフのための健康行動理論 実践編 第 2 版 生活習慣病の予防と治療のために 医歯薬出版株式会社
課題に対する フィード バックの方法	予習のためのワークシート（調べ学習）および小テストは、採点後に返却します。 レポートは、成績発表後にコメントをつけて返却します。
学生へのメ ッセージ・ コメント	様々な環境で生活する人々の健康課題をアセスメントする力を要するため、既習教科を復習し臨んでください。 将来、看護職として活動する場合に必要な標準的な事象・事柄を取り上げています。 そのため、人が行動を変えるきっかけに関心を持ち、授業への主体的学習参加を期待します。 予習のためのワークシート（調べ学習）等は、「classroom」に掲載します。